

## 園長だより「誕生日」 第5号

「ありがとう」と言われて不愉快な気持ちになったり、怒り出したりする人はいません。自分自身も「ありがとう」という言葉を口に出すことで穏やかな気持ちになります。人に感謝する気持ちを表す言葉「ありがとう」は言われた方も言った方も幸せな気持ちになる魔法の言葉ですね。

皆さんはお子さんに「ありがとう」という言葉をかけてくださっていますか。

「お手伝いをしてくれてありがとう」

「優しいことを言ってくれてありがとう」

「作ったものを美味しいと言ってくれてありがとう」

たくさんの「ありがとう」がありますね。どれも素晴らしいのですが、皆さんがお子さんに持っておられる「ありがとう」の一番大きなものは「生まれてきてくれてありがとう」ですよ。お子さんがお生まれになった日のことは鮮明に覚えておられるのではありませんか。初めてお子さんを抱かれた時の気持ちも忘れることはないと思います。私も長女が生まれて10日後（しばらく保育器に入っておりました）、初めて娘を抱いた時の小さな体の感触と震えるような感激を忘れることはありません。

私は4月1日の朝、新任の先生が出勤してくると、必ず、校長室でこんなお話をしていました。

「〇〇先生、昨日まで大学生だったあなたは今日から小学校の先生です。今日は小学校の先生としての誕生日といえるかもしれません。あなたを待っている子ども達がありますよ。そんな子ども達の気持ちに応えるために大切なことはたった一つ。今、〇〇先生と呼ばれた時に感じた気持ちを忘れることなく、退職の日まで持ち続けること。そうすればあなたはきっと子ども達や保護者に愛されるいい先生になれますよ。」

先日、ある女の子が私にこんな声をかけてくれました。当然、満面の笑顔です。

「園長先生、昨日、お家で私のお誕生日パーティをしてん。ケーキも食べたよ。」

愛されているなあ。私まで嬉しくなっていました。その女の子は自分が愛されていることを実感しているのです。お子さんにとって本当に大切なことは高価な誕生日のプレゼントや豪華なケーキではありません。お子さん自身が保護者の皆さんに愛されているということが実感できていることです。

皆さんは平素から常にお子さんを愛してくださっていますが、お子さんの誕生日に改めてお子さんが生まれた日の気持ちを想起するのもいいと思いますよ。そう考えただけでもお子さんをギュッと抱きしめたくありませんか。子育てにおいて、そういうスキンシップは極めて重要です。でもこのギュッはお子さんが小さいうちしかできませんよ。私が娘を愛している気持ちは昔と何も変わっていませんが、今、娘をギュッとすると叱られてしまいますからね。結局、残念ながら私はここに書かせていただいたことと裏腹に高価な誕生日プレゼントで娘の気を引くしかありません。